

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的
☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

◆10月の発行は、17日号、24日号、31日号です。

今週の紙面

■2面 女性ニュース／国会スパート ■3面 読者のページ／まんが／短歌 ■4面 健康体操／ホットライン ■5面 憲法講座／ホットライン ■6面 キノコを美味しく／母の歴史 ■7面 新婦人の活動／主張／公営水道が危ない



福岡・大牟田市 瀬戸佳子 (85)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

ジェンダー平等にも逆行する

比例定数削減反対！



「ただでさえ少ない女性国会議員がますます減る」「独裁政治への道はゆるさない」と次々にマイクを握ってスピーチ。新婦人京都府本部が呼びかけたスタンディング（関連2面）

切り捨てられるのは私たちの声

臨時国会で、自民党と日本維新の会（維新）がねらう衆議院議員の比例定数削減は、多様な民意を切り捨て、権力の集中を強めることにならないのか。この危険な動きに、国会内の緊急集会をはじめ各地で「多様な声を切り捨てるな」「女性や地方の声が届く国会に」と、切実な声が上がっています。

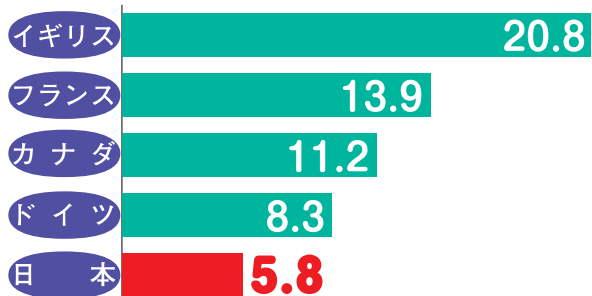
反対の声 各地で

10月6日、「議員定数削減反対！緊急アクション」(※)が呼びかけ、国会内で開かれた集会には、公明党、国民民主党、立憲民主党、民主改革の会、日本共産党、社民党、護士、若い世代、労働現場、いのちの党、沖縄の風の野党議員26人が駆けつけ、会場は満員に。先の国会でも野党の全12党が反対して継続審議となっていました。出席した議員からは、いまの国会でも一致して阻止したいと決意が語られました。

多様な民意を届ける制度

場の、性的マイノリティーや貧困支援の現場、沖縄からも発言が続き、「さまざまな立場の人の代表を減らすことは、基本的人権の実現に向けて大きな壁」（清末愛砂室蘭工業大学教授）「政治参加したいと思う若い世代を政治からさらに遠ざけることになる」（久道瑛未弁護士）など問題点が述べられました。

人口100万人あたりの国会議員数(人)



※列国議会同盟がまとめた上下両院の定数と国連人口基金の推計人口をもとに試算

は、当選者以外

今でも議員が少ない日本で、さらに定数を減らす必要があるのでしょうか。小選挙区制では、当選者以外

※浅倉むつ子さん（早稲田大学名誉教授、上野千鶴子さん（社会学者）ら各界の女性40人が呼びかけ、9月に結成。臨時国会で定数削減法案の成立を止めよう、国会包囲やスタンディングなど全国での共同行動を呼びかけている。

〈2面へ〉

ジェンダーギャップ（男女平等度）指数 日本は145カ国中117位

世界経済フォーラムの発表を基に作成

1	アイスランド	22	フランス	政治	121位
2	フィンランド	47	米国	経済	119位
3	ノルウェー	83	イタリア	教育	68位
4	ナミビア	96	中国	健康	49位
5	英国	101	韓国		
9	ドイツ	117	日本		

主要先進国で最下位

り、定数削減ありきではなく、私たちの代表である議員を国会に送るにはどうしたらいいのかを真剣に議論することこそ必要」と呼びかけました。

維新は、「世論調査でも約7割が定数削減に賛成している」として「身を切る改革」で財政支出を削ると強調しています。しかし、そもそも議員を45人減らすことで削減できる経費は、集会で示された試算では歳出総額のわずか0.003%程度です。

一方、2027年度の概算要求で内閣広報室は広報関連経費として約72億円を計上しています。税金の使い方を直すなら、予算の使途や政治資金の不透明さ、企業・団体献金の問題にこそ向き合すべきです。

